



救急外来における病衣着用を容易にしよう



水島中央病院 外科系外来 ファミリープラス1サークル

発表者 江原 二三子

はじめに

病院紹介

私達が勤務する水島中央病院は、水島臨海工業地帯の中央に位置しています。設立は昭和36年で、工業地帯の発展と共に現在では診療16科、ベッド数155床、職員数250名の総合病院です。また、関連施設として笹川地区に155床の倉敷リハビリセンター病院があります。

サークル紹介

当サークルは、平成1年2月に結成され外科、整形外科、脳外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科の6診療科に所属する看護師12名、クラーク1名、オブザーバーの医師1名で活動しています。一人一人の患者様を大切に、満足して頂ける看護をと、日夜努力しています。

1. テーマ選定

5点 3点 1点

評価項目	経済性	緊急性	取り易い	患者様になるか	関心度	効果性	合計
問題点							
ベルト固定に時間がかかる	33	11	11	33	33	55	176
当直帯撮影したフィルムを出すのに時間がかかる	11	55	33	55	33	33	220
バード浴の温度が一定に保たれない	11	33	11	55	33	33	176
荷物の渡し忘れがある	33	33	11	55	33	33	198
寝たままで病衣が着せにくい	33	55	33	55	55	55	286

リースの病衣と着せ方の説明

病衣の説明

病衣はリースの物で身頃の打ち合わせを紐で結ぶようになっており、小児用から、成人用LLサイズまであります



臥床時の病衣の着せ方



側臥位(横向き)にして背中を通す



患側(受傷側)から着用

仰向けにし健側(健康側)を着用

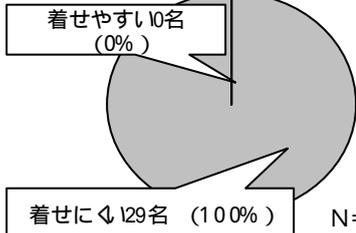
テーマ 救急外来における病衣着用を容易にしように決定

2. 現状把握

現状把握

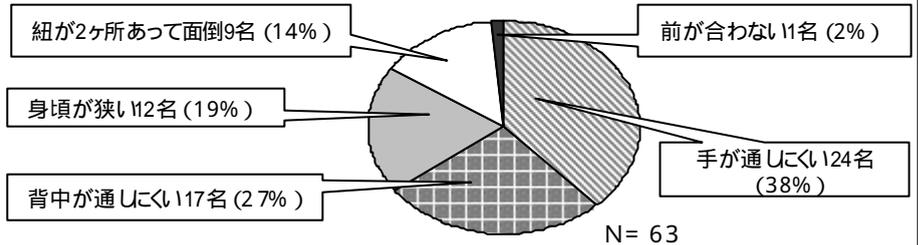
病衣に関するアンケート調査 対象者:救急外来業務に関わるスタッフ29名

現在の病衣は着せやすいですか



病衣のどこが着せにくいですか

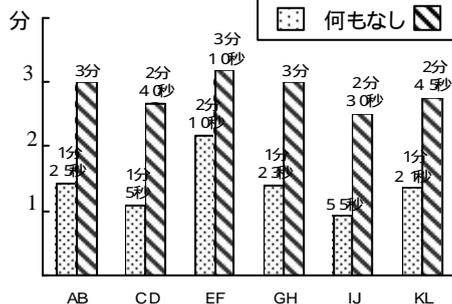
は、複数回答可



現状把握の検証

患者役1名 看護師役2名 計3名によるシミュレーション

シミュレーション後の感想



患者様役

ストレッチャーが狭く横に向けられると落下しそうで不安
袖に手を入れられる時痛かった
何度も体を動かされると痛みが増強すると思った
点滴が抜けないか心配だった



看護師役

体を横に向ける時、重いのでは支えづらい
ストレッチャーが狭く落下させそうで怖い
病衣に余裕が無いので、引っ張ったら破けそうだった
患者様を何度も横に向けなければ着用させる事が出来なかった
シーンや点滴が付いていると更に袖が通し難くなった
点滴が抜けてしまわないか心配だった

ノーマル:平均1分38秒 シーン・点滴あり:平均2分09秒

わかったこと

シーンや点滴が付いていると着用により時間を要した
何度も体を動かさないと着用出来なかった

ストレッチャーという限られたスペースで、横に向け
手、背中を通す事は難しく落下の不安と危険が大きかった

QCサークル紹介

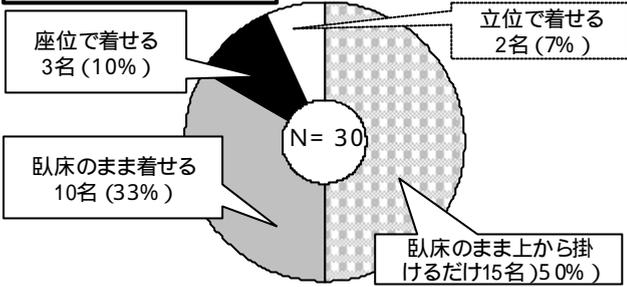
サークル名:ファミリープラス1

サークル

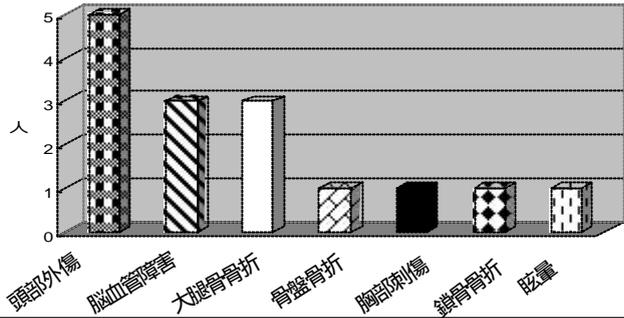
本部登録番号	392505	サークル結成時期	平成1年2月
構成人員	13名	月あたりの会合回数	4回
平均年齢	37歳	1回あたりの会合時間	0.5時間
最高年齢	58歳	会合は	就業時間内
最低年齢	25歳	テーマ歴(このテーマで)	10件目

<発表形式> プロジェクター

現状把握 とその検証



臥床したまま上から病衣を掛けた患者様の内訳



なぜ臥床したまま上から掛けたのか

- 意識状態が悪かった : 3名
- 体を動かすと痛みが増強した : 3名
- 忙しくてつしから掛けた : 2名
- 体を横に向けられなかった : 2名
- スタッフが少なくて着せられなかった : 1名
- 処置に手間がかかった : 1名
- 重症だから着せられないと思った : 1名
- 牽引道具が付いていた : 1名

わかったこと

- 患者様の重症度が高い場合や、骨折、外傷等に伴う痛み場所、程度によって体を動かす事が出来ない
- 緊急時には手間がかかり着せにくい
- スタッフが少いとききちんと着用する事が出来ない

3.目標設定

何を 臥位で病衣が着せにくいと答えた29名を

いつまでに 平成 12年 10月末日までに

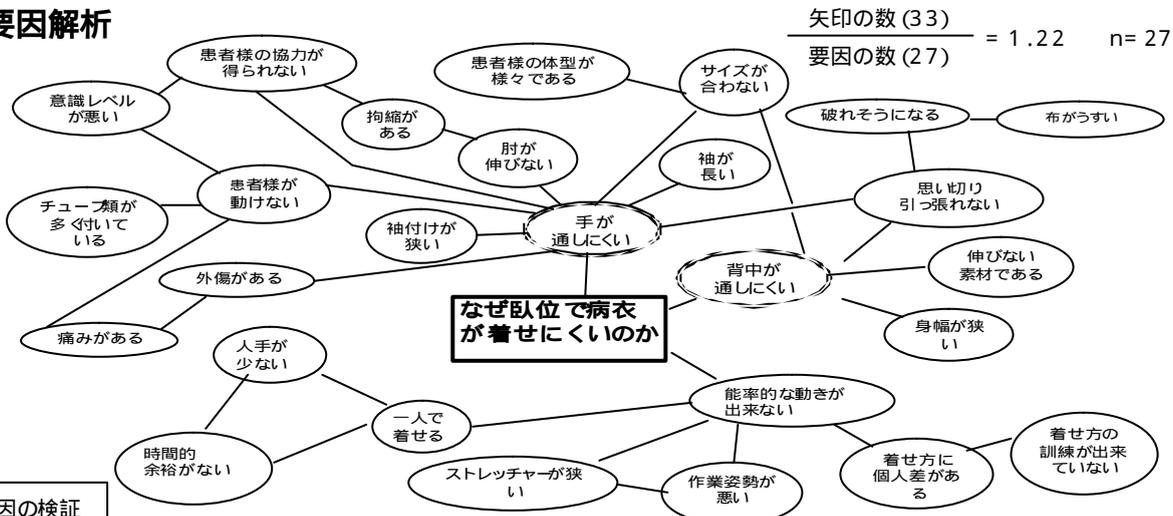
どうする 0名にする

その根拠 患者様の満足の観点から考えると、スタッフ全員が着せやすいと思う方法を取る事で、患者様の負担も無くなると思つた

4.活動計画と実施

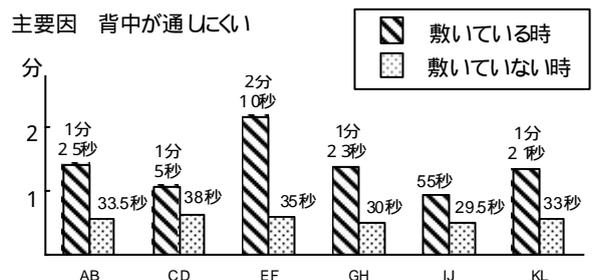
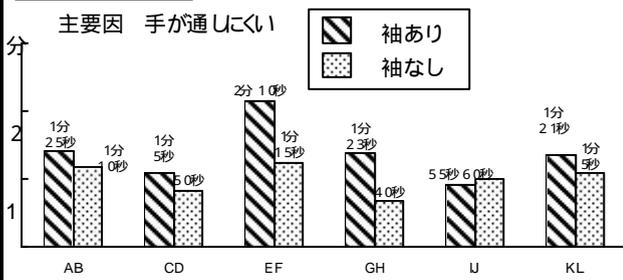
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	担当者
テーマ選定																			小野 宮原
現状把握																			宮本 塚敏
目標設定																			平田 水田
活動計画																			佐藤美 宮原
要因解析																			宝蔵 未広
対策立案																			原田 渋谷
対策実施																			佐藤美 汀原
効果の確認																			未広 平田
備止め																			塚敏 渋谷
反省																			汀原 宝蔵

5.要因解析



矢印の数 (33) / 要因の数 (27) = 1.22 n=27

主要因の検証



袖のある場合平均1分38秒 袖のない場合 平均1分

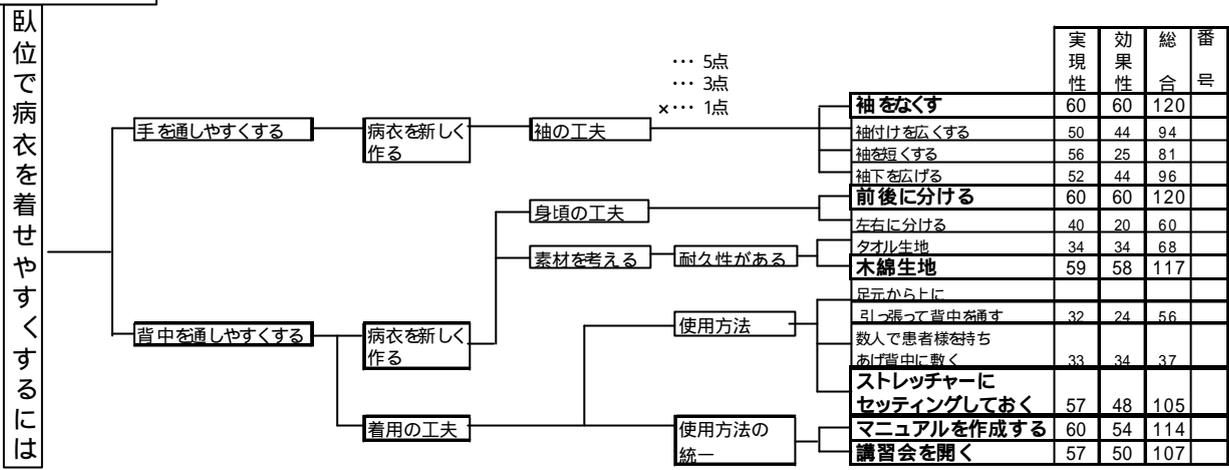
従来通りの場合:平均1分38秒 あらかじめ敷いておく:平均33秒

わかったこと 袖のある場合の方が手を通すのに時間がかかるため、現在の病衣では、手を通しにくい

わかったこと 従来通りの場合の方が、あらかじめ敷いておく場合よりも背中を通すのに1分以上多く時間がかかる

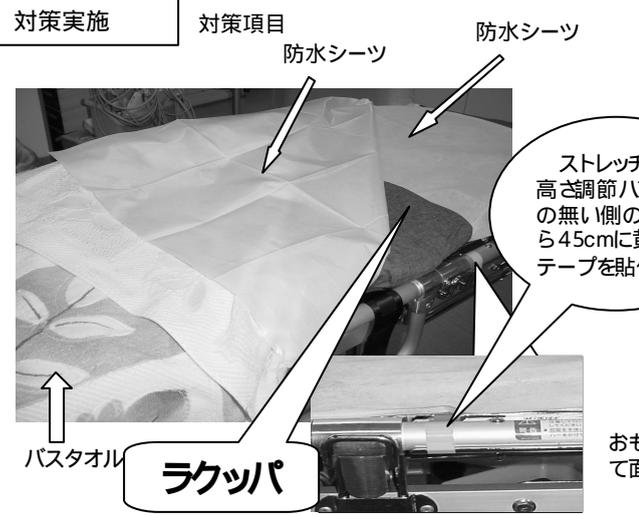
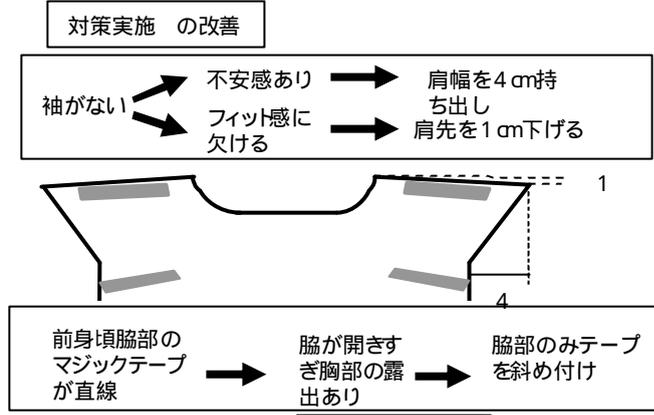
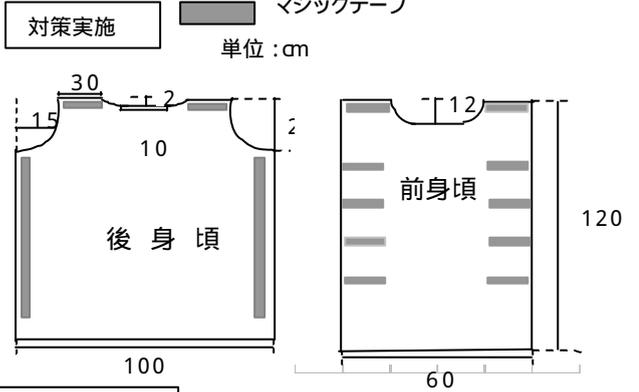
主要因は **手が通しに↓ 背中が通しに↓** である

6.対策の検討



総合得点100点以上の6項目を対策実施とする

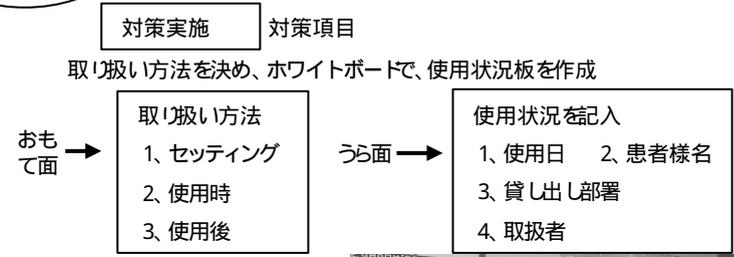
7.対策の実施



楽にパット着られるパジャマで **ラクッパ** と名付けました

ストレッチャーへのセッティング方法
 後身頃の脇の部分から上に裏に折り返す
 黄色のテープに折り返し部分を合わせラクッパの両サイドをマットに敷き込む
 ラクッパを使用しない患者様もストレッチャーを使用するのでもう一枚防水シートを敷きバスタオルを置く
 前身頃をたたみ足元のマットの下に敷き込む

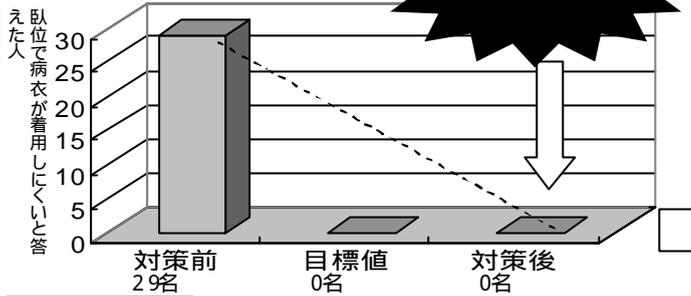
ラクッパの着用方法
 ストレッチャーに臥床する
 後身頃の肩の折り返しを引き出す
 前身頃を身体に掛け、前後身頃の肩を合わせる
 マットに敷きこんでいた後身頃の両サイドを引き出し
 前身頃と合わせる



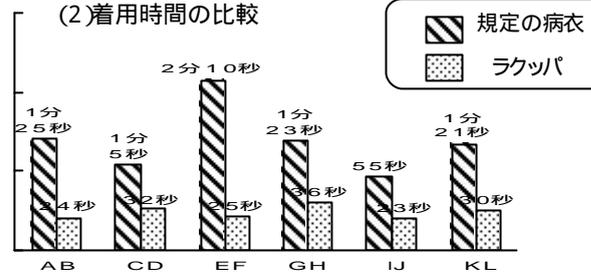
8. 効果の確認

(1)有形効果

(1)目標値の比較



(2)着用時間の比較



従来通りの着用時間: 平均1分38秒

ラクッパの着用時間: 平均28秒

1分10秒の短縮

(2)波及効果

黄色のビニールテープをストレッチャーに付け、枕元・足元を決めた為ストレッチャーのハンドルが処置の邪魔にならなくなった
後身頃を広くしている為、患者様の移動時バスタオルを必要としなくなった

部分的に開く事が出来るので、装着しているコート類や、挿入されているチューブ等がラクッパの間隙から出せる

(3)無形効果

暖かいし、吸収も良い
バスタオル代わりになって移動時便利
最初から敷いておく事で、しわが無く着用出来る

患者様に動いてもらう回数が少ないので、痛み等の軽減が出来た
点滴・チューブ類があっても抜けるという危険や不安が減少した
きちんと着用する事が出来、患者様のプライバシーが守れる様になった

9. 歯止めと標準化

	いつ	どこで	誰が	何を	どうする	何のために
標準化	毎日9時・11時	救急処置室	救急室チェック担当者	ラクッパ	セッティングされているか確認する	次の患者様にすぐ使用出来るように
教育	新しいスタッフが来た時	救急処置室	未広	ラクッパ	使い方を指導する	正しく使用出来るように
	3か月毎	外科外来	メンバー全員	ラクッパ	確認する	正しく使用出来ているか
管理	使用時	救急処置室	使用者	記入項目	使用状況板に記入する	貸出し状況がわかる様に
	返却時	救急処置室	受け取ったスタッフ	使用状況板の記入項目	消去する	返却状況がわかるように
	返却時	外科外来	受け取ったスタッフ	汚染を認めたらラクッパ	洗濯を依頼	清潔に使えるように
	破損時	外科外来	塚畝	ラクッパ	修理する	きちんと使えるように

10. 活動の反省と今後の課題

(1)良かった点

シミュレーションしてみても患者様の不安な状態が再確認出来た
長時間を要したにも関わらず、途中で諦める事無く自分達でも満足のものが出てきた

(2)悪かった点

テーマ選定時の詰めが浅く、変更し完成までに2年もかかってしまった
患者様の意見が聞けず、看護師の主観で進めてしまった

(3)苦労した点

デザインに対しての意見が多すぎ、まとめるのに苦労した
経費上の問題もあり、安価な素材を探すのに苦労した

(4)今後の課題

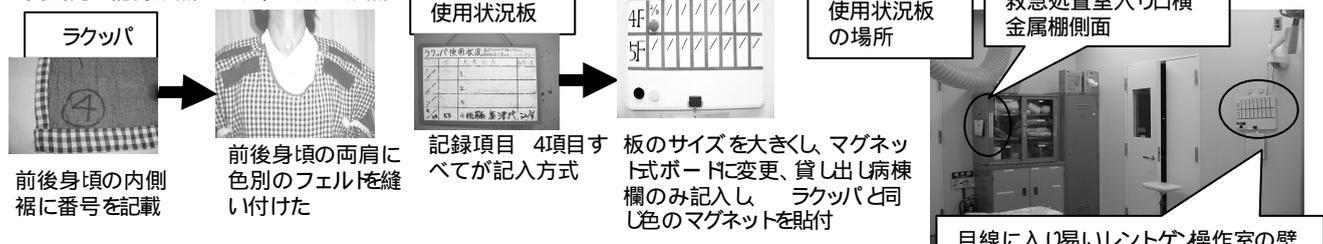
小児用のラクッパも作ってみたい
ラクッパを増数したい

11. その後の状況と経過

良い物が出来た事に満足してしまったのか?

使用時、返却時の処理がきちんと出来ておらず、貸し出してもその先どうなっているのか不明

貸出先の記録が無いのに、ラクッパが無い



歯止めと標準化の変更

	いつ	どこで	誰が	何を	どうする	何のために
管理	使用時	救急処置室	使用したスタッフ	使用した日付 マグネット	ラクッパ使用状況板に記入し マグネットを移動する	貸し出し状況がわかるように
	返却時	外科外来	受け取ったスタッフ	使用状況板の 記入項目を	ラクッパ使用状況板の 日付を消去しマグネットを外す	返却状況がわかるように